

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 16日

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

住 所 大分市大字小中島872番地の1
氏 名 王子マテリア株式会社 大分工場
工場長 錦 戸 俊 之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

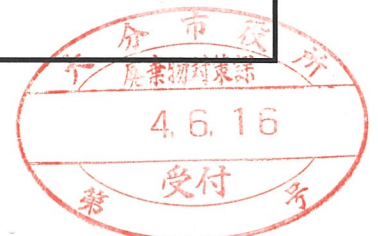
電話番号 097-527-6510

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

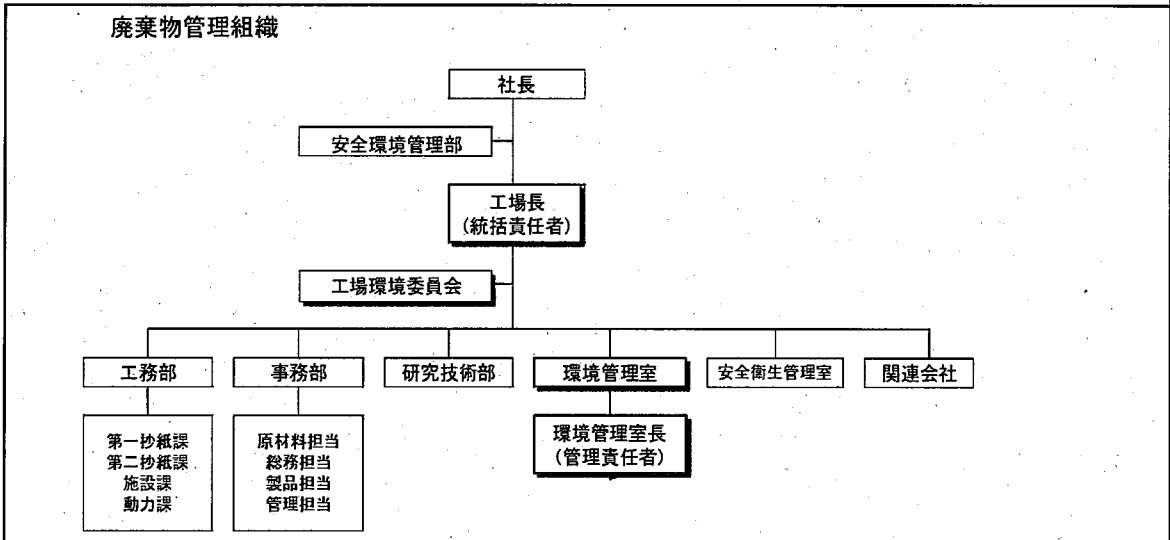
事業場の名称	王子マテリア株式会社 大分工場
事業場の所在地	大分市大字小中島872番地の1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業															
②事業の規模	年間生産量: 318,292t 資本金: 6億円															
③従業員数	169名															
④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程	<table border="1"><thead><tr><th>処理工程</th><th>中間処理</th><th>最終処分</th></tr></thead><tbody><tr><td>燃え殻(有害) →</td><td>焼却</td><td>路盤材</td></tr><tr><td>強酸 →</td><td>中和</td><td>路盤材</td></tr><tr><td>廃PCB →</td><td>焼却</td><td>燃料</td></tr><tr><td>廃石綿 →</td><td></td><td>管理型埋立</td></tr></tbody></table>	処理工程	中間処理	最終処分	燃え殻(有害) →	焼却	路盤材	強酸 →	中和	路盤材	廃PCB →	焼却	燃料	廃石綿 →		管理型埋立
処理工程	中間処理	最終処分														
燃え殻(有害) →	焼却	路盤材														
強酸 →	中和	路盤材														
廃PCB →	焼却	燃料														
廃石綿 →		管理型埋立														



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】別紙のとおり					
	特別管理産業廃棄物の種類					
	排出量	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） ・RPFボイラ一定期点検時に発生する、炉内に残っている燃え殻について、炉内の場所別に有害物質分析を実施し、基準値超の有害物質を含有しているものは特管、基準値未満のものは、一般の産廃として処分している。					
②計画	【目標】別紙のとおり					
	特別管理産業廃棄物の種類					
	排出量	t	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現状の取組みを継続する。					

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 燃え殻：RPFボイラー炉内燃え殻を排出する時に有害物質を分析調査
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】別紙のとおり				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】別紙のとおり				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】別紙のとおり				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】別紙のとおり				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】別紙のとおり					
	特別管理産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】別紙のとおり					
	特別管理産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】別紙のとおり					
	特別管理産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者へ処理を委託するよう努めている。処理業者を定期的に訪問し、処理状況を確認している。					

②計画	【目標】別紙のとおり				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	全処理委託量	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 現状の取組みを継続する。					
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和3年度)実績】				
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	121t			
(今後実施する予定の取組等) 廃石綿等のみ紙manifest、その他は電子manifest対応済。次回、廃石綿等を排出する場合は電子manifestに対応している事業者へ処理を委託する。					
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった特別管理産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

上段:実績値 下段:目標値	排出量	自ら 再生利用 を行う量	自ら 熱回収を 行う量	自ら 中間処理により 減量する量	自ら 埋立処分又は 海洋投棄処分 を行う量	全処理 委託量	優良認定 処理業者 への委託量	再生利用 業者への 委託量	認定熱回収 業者への 委託量	認定熱回収 業者以外の 熱回収を行う 業者への 委託量
廃油(引火性)										
強酸	34 0					34 0	31 0	31 0		
強アルカリ										
感染性産業廃棄物										
廃石綿等	5 0					5 0	5 0			
銻さい(有害)										
燃え殻(有害)	82 80					82 80		82 80		
廃油(有害)										
汚泥(有害)										
廃酸(有害)										
廃アルカリ(有害)										
ばいじん(有害)										
廃PCB等	4 4					4 4		4 4		
令和3年実績値合計	125	0	0	0	0	125	36	116	0	0
令和4年目標値合計	84	0	0	0	0	84	0	84	0	0